

プロジェクト参画 医療機関・施設 あなたの町のドクターインタビュー



vol.1

vol.2

医療法人医徳会 真壁病院



「病院は患者と地域住民のためにある」を理念に、
地域医療に貢献。

東松島市にある真壁病院は昭和54年9月、当時無医地区だった当地に前理事長の眞壁道夫が内科医院を開業。以後地域のためにと事業拡大し、現在は131床の病院（標榜科内科・外科・循環器内科・消化器内科・消化器外科・心臓血管外科・整形外科・小児科・心療内科・放射線科・人工透析内科・リハビリテーション科・血液内科）と100床の老健2施設（さつき苑、歌津つつじ苑）、クリニックを運営している。



お話を聞いたのは…

● 理事長
眞壁 秀幸 先生



● 院長
庄司 好己 先生



【Q1】 貴院の特色やこだわりを教えてください。



地域の皆様が遠方の大きな病院を頼らずとも済むように、当院で完結できる医療を提供したい。これが、院長に就任する前から抱いていた思いです。

当院では、一般医療から療養型医療、介護老人保健施設、在宅医療までの継続した医療体制づくりを推進しています。急性期から在宅までの広域をカバーする医療体制により、地域のさまざまな医療ニーズに応えて、患者様やご家族の負担を軽減したいというのが当院の志です。現状では、近隣の病院に療養型病床が多くないため、療養型医療における当院の役割は大きいものになっています。急性期病院では支えきれない患者様を、ご自宅に戻れるまでしっかりと支えることが、地域における当院の重要な役割です。また、退院後も継続して支えていけるように、訪問診療・訪問看護といった支援体制の拡充を進めています。地域のヘルパーステーションやケアハウスとも協力し、医療・介護連携体制で地域医療に貢献していきたいと思っております。（庄司院長）

【Q2】 先生が仕事をする上で普段から心がけていることは？



栄養管理室 管理栄養士 八木さんよりコメント

「栄養管理室では、チーム医療の一員として、NST回診、褥瘡回診、透析カンファレンスなどに参加し、患者様一人一人に適切な栄養管理ができるよう日々奮闘しています。」

私は元々救急・外傷が専門でしたが、現在は総合診療科として診療していますので、診察に当たっては、患者さんの病歴から生活習慣、家族歴などを詳細に問診し、調子が悪い原因が何処にあるのかを総合的に捉えようと努力しています。特に被災地ですから、食事、排泄、睡眠に関する問診は重要だと考えています。また、余裕があれば冗談など言いながら、診察時間内に笑ってもらえるように心がけています。（眞壁理事長）

「all for one, one for all」

一人ひとりの患者さんに対し、チームとしてケアに当たる「チーム医療」を心がけています。（庄司院長）

【Q3】 先生個人や病院として今後力をいれたいことや、将来像をお聞かせください。



本来、医療・福祉とは人が安心して暮らすためには欠くことの出来ないものですが、当市には公的医療機関がありません。ですから我々の役割は非常に重く、大きいものと自覚しています。しかし残念ながら現在の医療を取り巻く状況に明るい話題は少ないですよ。なので私なりの将来像はまだ固まっていないのが正直なところです。

ただ先代から変わらず、この地に生まれて育ち、親となり子を育て、老いて眠るまで、安心して暮らしてゆけるようにするために、本当に必要なことは何か？そして我々に出来ることは何か？を、単に制度に振り回されるだけではなく考えて行くしかない、また実践出来るのは我々しかない、と思い頑張っています。

当院はこれまでも健康講座など通して健康推進に努めて参りました。これからも病気のこと、健康のこと、何でもお気軽にご相談下さい！（眞壁理事長）

医療法人医徳会 真壁病院

宮城県東松島市矢本字鹿石前 109-4

TEL : 0225-82-7111

<http://www.itokukai.or.jp/>